

**SSKP**  
**はばたけだより**  
**vol.126**

# はばたけ秋まつり



今年は晴天に恵まれ、緑の庭を活かして活動で作った作品をたくさんちりばめ、はばたけらしいのんびりとあたたかい雰囲気の中、地域の皆さまを迎えることができました。ステージでは、昨年好評だった「ピクリプ」さんを始め、地域で元気に活動されている方々に出演していただくこと、児童館のダンスグループ「ブラックペッパー」、本格的なフラダンスグループ「フラブーティ」、そして新たに「三鷹POPSシニアチアリーディング」に華を添えていただきました。また、今回は、はばたけのメンバーも日頃ダンス活動での成果を見せようと、出演者の皆さんとのコラボでAKBを踊りました。

たくさん地域の方々にお越しいただき、はばたけに笑顔があふれ、そこにいる人みんなが温くなるような光景は、開催してよかったな…と実感できるうれしい光景でした。

ご協力いただいた出演者の皆さま、「ほのぼのネット野崎西班」の皆さまボランティアのみなさま、そしてご来場の皆様ありがとうございました。



# 新春のお喜びを申し上げます

社会福祉法人おおぞら会  
理事長 西原雄次郎

## 経営の安定化と、差し迫った必要にこたえるために～

いつも社会福祉法人おおぞら会に応援をして下さり、関心を持って下さっている皆様、明けましておめでとうございます。明るい新年をお迎えでしょうか。皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。そして日頃賜りますご支援に、心から感謝申し上げます。

実はこの文章を書いているのは12月の初めであり、衆議院議員選挙がまだ行われていない段階です。知的な障がいのある方々や認知症のある方々が、平穩に暮らせる社会は、戦争をしない平和な社会であることが大前提です。その様な国をこれからも維持してもらいたいと切に願っています。

さて、去年は社会福祉法人をめぐる、様々な議論が行われ多くの報道がなされました。今年はその結果として、社会福祉法人制度そのものに何らかの手直しが行われるのではないかと囁かれています。私たちおおぞら会は、毎日通ってきて下さる利用者の皆さんと、献身的に働いて下さる職員と、応援して下さる多くの皆様からの支えを得て、利権や不正蓄財等とは無関係な経営を行ってきました。けれども、さらに社会に貢献する法人独自の取り組みが求められており、今年はこちらにも向き合っていかなければなりません。

今年のおおぞら会の喫緊の課題の一つは、重い障がいのある皆様が、住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るための条件整備(新たなグループホームの開設他)を行うことです。昨年はいくつかのチャレンジをしましたが、残念ながら具体的な実を結ぶことは出来ませんでした。このことで、立ち止まることは許されないと考えています。次の取り組みを模索したいと思います。

そして、障がいのある子ども達が、放課後の時間を安全に有意義に過ごす場所と機会を増やすことや、さらに、働きたい利用者の皆さんが一般就労の場につながるように支援することも重要な取り組みです(去年は3人の方々が就職できました!)

法人の出発の場所であるアクティビティーセンターはばただでは、障がいの重い皆さんがそれぞれの持ち味を生かして、工賃が得られる創作的な取り組みや、地域社会とつながる様々な活動に日々励んでいます。野ざきの家では認知症高齢者とその家族を支えるために、24時間365日、切れ目のないサービス提供に職員は邁進しています。

グループホーム、ショートステイ、ガイドヘルパー等のヘルパー派遣事業所、一つ一つは小さな事業所ではありますが、全体が一体となって社会的な使命を果たすべく頑張っています。

これらの諸事業を安定的に継続するためには、安定した法人経営が大前提です。何とぞこれからも物心両面でのご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



小規模多機能型居宅介護

# 野ざきの家



あけましておめでとうございます。今年も  
よろしく願い申し上げます。  
早いもので年も明け新たな一年が始まりましたが、秋の活動報告をさせていただきます。  
気候の良い秋10月28日には利用者様・職員  
総勢19名で河口湖まで遠足に行ってきました。  
湖畔のお店でほうとうを食べ、そのあとは猿  
まわし劇場に行きました。

当日は、大変天候に恵まれ汗ばむくらいの  
陽気となりました。河口湖まで1時間ちよっ  
との長旅?ですが体調不良などもなく無事に往復できました。紅葉にはちょっと早い感じでしたが  
山々の景色を楽しんだり、世界遺産の富士山を眺めたり、リニアモーターカーの実験施設を通ったり、  
車内では会話が途切れることなく楽しい時間を過ごしました。

昼食では山梨県名物の「ほうとう」を食べました。具たくさんうどんのような麺を「ふうふう」  
しながらみんなでの外食を楽しみました。

そして、いよいよ猿回しへ。お猿さんが繰り出すアクロバットな動き・猿使いの職員の絶妙なやりとり、ユーモアに富んだシナリオ。みなさん大笑いの時間でした。その時思ったのが、動物には動物しかできない人の心を揺さぶることです。動き・表情・空気…。高齢になり様々な病気や記憶の面が低下してきて「見て・聞いて・感じて」の大切なものはそうそう失われないんだなと思いました。いつも当たり前のように利用者様と接していますが、今回猿回しを見て「人の心の豊かさ」を再確認しました。我々の役割のひとつには「寄り添う」ということが言われていますが、なかなか答えの見つからないものではありませんが追及していきたいと思えます。

秋は地域のイベントも盛りだくさんでした。はばたけの秋祭りにも参加しました。みなさんプロの方の生演奏に感動されていました。目の前で鑑賞し「見て・聞いて・感じる」ので心の奥底まで響いていると思えました。

また、地域の防災訓練にも参加しました。当日の天候が危ぶまれたのですが参加することができました。様々な体験ブースがあり、並んでいる際、前後の方々と話をしたり、つながりをもつことができました。有事の際は地域で助け合うことが求められます。我々の存在を地域の方々に知ってもらわなくてはなりません。まだまだ「野ざきの家」の認知度は地域の方々に知られていません。その活動にも力を入れていける2015年にしていきたいです。困ったらお互い様。そんな気軽に立ち寄れる地域の「野ざきの家」になっていけたらと思っています。(管理者 齋藤貴彦)



消火器訓練...気持ちも引き締まります!

# サポートネットあすは &あすはKids

移動支援・居宅介護事業  
放課後等デイサービス

## ひとりひとりがやる気になる支援をめざして

新年明けましておめでとうございます。おかげさまで良い新年を迎えることができました。本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。

さて、あすはKidsでは絵を描いたり、工作をしたり、本を読んだり・・・といった取り組みを行っています。ただ、単に取り組みや材料を提示するだけでは、子供たちにとって「やらされる」活動になってしまうように思います。手作業が好きな子供は、それでも集中出来る場合もあります。それでも本人にとって意味が感じられないものであれば、それは「やらされる作業」になってしまいます。

絵や工作、本を読むといったことに、言われなくても自分から取り組む子供たちがいます。そのこと自体が大好きなのでしょう。その活動に目的を感じられるようにし、見通しを持たせることが出来れば、さらに子供たちにとって楽しいものになると思います。

あすはKidsでは毎年ピープルズ・ホープ・ジャパンという団体のカレンダーコンクールに応募しています

(ピープルズ・ホープ・ジャパンは東南アジアの母子保健分野における支援活動を行っている団体です)。毎年あすはKidsから入選者を出しており、今年も三人の作品がカレンダーの絵や題字に採用されました。カレンダーのコンクールに応募するというのが目的となり、子供たちのやる気を引き出す一因になったと思います。入選することでさらに喜びと自信にもつながったことでしょう。

あすはKidsでは「星と森と絵本の家」という場所に行くことがあります(国立天文台の敷地内にある大正時代の建物を保存活用し、絵本や木のおもちゃを楽しめる施設)。「星と森と絵本の家」には近隣の子供たちも遊びに来ています。その建物内で、あすはKidsに通う子供が、みんなのために本の読み聞かせを行うことができました。「みんなのために本を読んであげる」ということがやる気につながり、喜びになったのだと思います。本を読んだ子供にとって「星と森と絵本の家」は大好きな場所になっています。



人はみんな目的を持っています。誰かのためになる、役に立つといったことがやる気と行動につながり、喜びになるのだと思います。分かりやすく見通しの立つ活動を提供し、目的を持って取り組めるように努め、子供たちといっしょに楽しむことができればなあと考えています。

(管理者 立野信行)



# ～ 工房 時 ニュース ～

# 河口湖旅行

2014. 11/13～11/14

11月の半ば、行事旅行に行ってきました。いつものおたよりでは普段の仕事ぶりをお伝えしていますが、今回は丸々旅行編ということでいきます！半年前からみんなの「職場会議」でプランを練り、今年は河口湖周辺での1泊2日となりました。それでは、レッツラゴン！

リニア見学センターにて



●リニアモーターカーの見学後、お昼には果樹園に到着。太陽の下、バーベキューやほうとうで腹ごしらえ。食後のデザートは…頭の上にあるぶどう！シーズン終盤に、なんとかぎりぎりセーフでのぶどう狩り。みなさん、上手に取れましたか～？



果樹園「浅間園」にて



歌うわよ～！



●本日の宿「ホテル湖龍」に到着したら、毎年恒例の宴会の時間。夕食も早々に、大カラオケ大会が始まります！それぞれの十八番を披露していき、演歌からAKB48まで、なんとも豊富なレパートリーが繰り広げられました…。初日お疲れ様でした！

のんびり観光組は、オルゴール館から雄大な富士の姿を！

～ 二日目 ～

富士急ハイランド組、  
絶叫マシンは  
こんな感じ～！



みんなの希望に沿ったコース設定、それぞれのペースに合わせて楽しめたのではないかな～と思います。  
明日からはまた仕事、力を合わせて頑張っていきましょう！  
(事務責任者：中野)



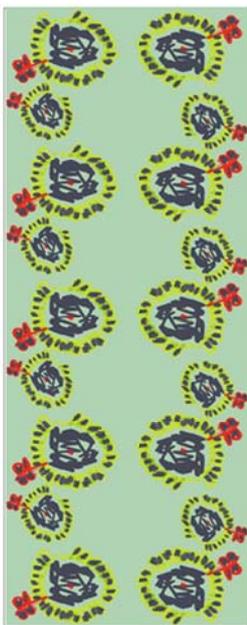
# アクティビティセンター はばたけ 【生活介護事業】

はばたけでは、地域や社会とつながり、やりがいを持てる作業活動として自主製品づくりをしています。できた製品は、イベントやお店での委託販売などで販売し、売り上げは利用者のお給料となります。製品というからには、その価格に見合った価値を感じられる良いもの・使っていただけるものでなければいけません。はばたけでは「仕事」という意味理解が難しい人も多く、それぞれの障がいの特性からもさまざまな工夫や配慮が必要です。いいものを作りたい、広めたいけれど、時間が必要で製品がたくさん作れない…というもどかしい状況もありますが、みんなの力の結集をたくさんの方が手に取ってくれたらいいなと思い、既製品にはない“はばたけらしさ”が出るようなステキな製品をと日々考え商品開発をしています。

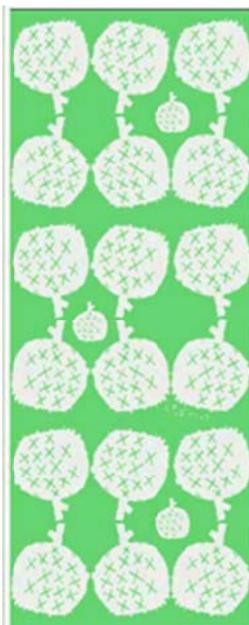
そんなはばたけらしさのスパイスになっているのが、利用者の描いた絵です。これまでも手すきのカレンダーやぼち袋、ポストカードなど、利用者の描いた絵をモチーフにしてきました。みなさんの描く線や色にはあまり迷いがなく、物の捉え方にもルールがなく、また自分の気持ちや心の揺れも、絵ひとつでみごとに表現しています。そんな個性が人を引きつける要素になっているのかなと思います。



毎年人気のてすきカレンダー



てぬぐい(おはな)



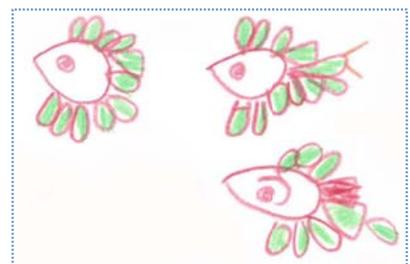
てぬぐい(メロン)

全国でも利用者の描いた絵や創作作品の魅力を伝えようという試みなどがたくさんありますが、はばたけでも皆さんの作品を活かしていきたいと考え、今回制作したのがオリジナル手ぬぐいです。みんなが描いた絵画やちょっとしたイラストなどを集めて選考し、デザインは美術大学出身の元職員が担当しました。

そしてできたのが、この2作品（色をお見せできないのが残念！…HPでぜひ見てください）。

普段の生活でさりげなく使ってもらえるものは、つくったこちらにも実感が持ててうれしいものです。のびのびとした魅力ある絵が描ける環境づくりと、作品をどう活かせるかのアイデアが職員には求められるところですが、みんなでイイモノづくりを楽しんでいけたらと思っています。（管理者 入倉暁子）

## 作品いろいろ



# おおぞら会後援会ニュース

～活動報告～  
はばたけ秋祭り  
福祉バザー

新年おめでとございます。皆様におかれましては、よき新春を迎えられたことと、謹んでお喜び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、深く感謝申し上げます。本年も、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、おおぞら会後援会の活動ですが、本おたよりの表紙にあります「はばたけ秋まつり」において、ご家族の方を中心にミニバザーと模擬店出店で参加いたしました。当日は盛況となりうれしい限りです。近隣地域の方とつながることは法人の理念でもあり、後援会としてその一助となることは今後の励みとなります。



11月には、三鷹市社協主催の「福祉バザー」に参加いたしました。こちらもお家族の方に事前の準備からお手伝いいただき、売上を出すことができました。

また、サポートネットあすは事業所内で、定期的にミニバザーを行っております。バス停の目の前という立地もあり、近隣のみなさまにご好評をいただいております。

ご協力いただいたみなさまに、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。本年もおおぞら会後援会をよろしく願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

## 売上報告

日付	活動	売上
10月入金分	あすはミニバザー	50,000
10/18(土)	はばたけ秋祭り ※	80,050
11/16(日)	社協 福祉バザー	30,340

※別途寄附あり

### \*後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします\*

年会費 1口 個人...2000円 団体...10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

#### 後援会新規ご入会・ご更新(敬称略)

6名の方からご入会・ご更新の手続きをいただきました。ありがとうございました。

#### 後援会へ寄附(敬称略)

1名の方からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

#### 法人・各事業所・千人会へ寄附(敬称略)

4名の方からご寄付をいただきました。ありがとうございました。

皆様 ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

(以上、8/13～12/2 集約分)

information



冬の風物詩

謹製 かけうどん

～きつねを添えて～

今冬、新メニューを販売予定。  
新たな味わいをご用意して  
お待ちしております。



三鷹市野崎2-6-41(人見街道沿い・野崎八幡すぐ)…P あります！

### 社会福祉法人おおぞら会

- |                                    |               |                  |
|------------------------------------|---------------|------------------|
| ・ <b>アクティビティセンターはばたけ</b> (生活介護事業)  | 三鷹市野崎 3-17-9  | tel 0422-32-3234 |
| ・ <b>工房 時</b> (就労移行事業・就労継続B型)      | 三鷹市野崎 2-6-41  | tel 0422-30-5571 |
| ・ <b>野さきの家</b> (小規模多機能型居宅介護事業)     | 三鷹市野崎 2-6-41  | tel 0422-30-5575 |
| ・ <b>サポートネットあすは</b> (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ <b>あすは Kids</b> (放課後等デイサービス)     | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ <b>ショートステイさくら</b> (短期入所事業)       | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |

障がい者の分野で2012年から始まっている「計画相談支援」の制度。いわゆる障がい者版ケアマネ制度であり、国は2015年3月までにサービスを受ける障がい者すべてそのしくみに移行させたい考えた。しかしその期限が3ヵ月と迫った現在、制度利用は全国的に30%台にとどまっている。これを進める事業所に対する報酬単価の低さなどから見える国の姿勢は未だ疑問であり、これでどう未来を描けというのだろう、何がしたいんだろう...というのが3年間ぬぐえない率直な思いだ。事業所の中からも疲弊した声が聞こえる。制度が進まない理由もそこにあるのだろう。また、障がいのある方にしてみれば、新しい事業所との契約や面談などの手続きが必要になる。ポンと送られてきた書類には難しい言葉が並び、意味が分からず戸惑うばかりだ。「こんな大事なことを行政は何の説明もなく始めるのね」と家族の声。結局いつも利用者が置いてきぼりだ。 (いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 [頒価 50円]

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者:入倉暁子